

9月30日（月）練習・招待・応援

運動会の練習が始まりました。本日は低・中・高が**集団演技**の練習をしていました。中学年は三年生の教室からスタートです。四年生が三年生に向けて花笠音頭のお**手本**を見せていました。ペアを決めて**個別指導**も始まりました。四年生の**張り切り**ぶりはすばらしいものでした。このまま本番を迎えても大丈夫のような迫力ある踊りでした。三年生も**圧倒**されたかもしれません。

給食中、珍しく二年生数人が廊下を歩いていました。聞くと「**一年生**の教室に行く」こと、「明日の**遊び**の案内をする」こと、「おもちゃ遊びに**招待**した」ことを矢継ぎ早に数人が教えてくれました。この元気だった子も、一年生の廊下に行くと急に**緊張**してきたようです。一年担任の許可が出て、教室に入り、明日の連絡をして、廊下に再び出てくると、「はーっ」「緊張したー！」と声を出しました。明日のおもちゃ遊び、**楽しい会**になるといいですね。

20分休みに校庭から大きな声が聞こえてきました。声の主は**四年生**。体育祭出場選手を**励ます会**の練習をしていました。校庭の端からもいい声が聞こえて来ます。見ると運動会の**応援団**のようです。校庭の端と端に分かれて、掛け合いのようなことをしています。涼しくなってきたとはいえ、見ているだけで**汗**が出てきそうな**勢い**。運動会の応援も楽しみです。50周年ですから。



9月29日（日）振り返り

昨日の続きで出勤。扇っ子の算数ノートには「**次**にやりたいこと」や「**疑問**に思ったこと」の記述がたくさんありました。すべて写真を撮って記録しました。保護者の方にも知ってもらいたいと考え、10月1日付の**学校だより**の内容を変更しました。「分かったこと」や「授業の感想」は誰でも書けます。「次」と「疑問」を書けるようになってくると、**問題意識**が高まってくるはずです。



9月28日（土）ノート

本日はある目的があり出勤しました。子供たちの算数ノートを見ることです。授業の振り返りでどんなことを書いているのかを見せってもらうために、昨日、退勤前に校長室にノートを置いておいてもらいたい旨のお願いを担当にしました。昨日は午後出張だったため、本日このノートの山に出会うことになりました。今日一日では無理でした。明日続きを見ることとしました。



9月27日（金）祖父母・土砂・言葉

祖父母参観日。240名を超える方に来校いただきました。校長講話にも70名を超える方がお付き合いいただきました。本当にうれしかったです。お孫さんを見守る温かいまなざしに包まれた教室は、とってもよい雰囲気だったと感じました。公開授業前の子供たちも落ち着かない様子でした。「おばあちゃんが来てくれるよ」「うちのおじいちゃんは、今日はゴルフに行ってる」「〇〇からわざわざ来てくれるんだよ」「おじいちゃんは〇〇に住んでいるから今日は来ないと言ってたんだ」などなど、嬉しそうに自分の祖父母の話聞かせてくれました。



五年生が理科で土砂のふるい分けの活動をしていました。土砂を「れき」と「砂」と「泥」に分ける活動です。泥（1/16mm以下の大きさ）を取り出すときのつぶやきがおもしろかったです。「変なおいがするな」「山椒みたい」「息をすると飛んでいきそう」「くしゃみが出そう」などなど。「泥」の概念が確実に変わった瞬間でした。



二年生が国語で「同じ仲間の言葉」集めをしていました。まずは配布されたカードを分類。家族の言葉として「お父さん」「お母さん」「お姉さん」「お兄さん」「妹」「弟」が並びました。分類が終わったら、付け加えてもよいとの指示がでると、さっそくこの日の主役を書িয়েくれました。そうです「おじいさん」「おばあさん」と。二年生、大事

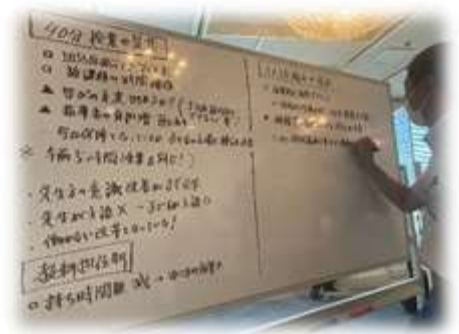


なことを分かってくれていますね。

9月26日（木）研修

朝から都内で研修がありました。会場付近には、**修学旅行**に訪れた中学生が記念写真を撮っていました。「写真を撮るときの**ポーズ**もずいぶん変わってきたなー」と、違うことに思いを馳せてしまいました。

研修では、北海道・東北・関東・中越を代表して集まった校長が、意見を交わしました。**人材育成**、教育課程、働き方改革、**GIGAスクール**などなどです。ある県では、**初任者**を育てるために加配の教員をつけゆるやかな一年目を過ごしてもらう工夫をしているようです。また、ある県では四月着任前の三月の一週間、職場体験をするそうです。いろいろと勉強になりました。



9月25日（水）自慢・旅・演奏

講話朝会では「**扇っ子の自慢**」を各クラスで学び合ってもらいました。三年生の教室でその様子を見てみると、嬉しいことにたくさんの発表がありました。「**明るい**」「**困っている子がいると助ける**」「**自然を大切にしている**」「**仲が良い**」「**努力する**」「**静かに掃除ができる**」「**たくさん発表する**」「**協力できる**」「**ゴミを拾う**」などなど。この中から各クラスで自慢にしていきたいことを、さらに学び合ってもらいました。

図工室では、五年生が電動ノコギリ（以下「**電ノコ**」）を使って板を切っていました。いろんな子に聞いてみると一つのことが分かりました。出来上がる**形を決めずに**切っているのです。ある子は「**思いのままに切っている**」と言っていました。ある子は「**何かができそう。楽しみ**」と教えてくれました。まさに電ノコが板の上を気ままに旅しているようです。どんな作品が出来上がるのか。本当に楽しみです。



音楽室では鍵盤ハーモニカに向かって真剣に練習している四年生がいました。隣の部屋では、**キーボード**担当と**木琴**担当の子が先生の指導を受けています。曲は**ドラクエ**「ロトのテーマ」です。先週も似たような場面を見たことを思い出しました。全体で揃えて演奏してくれるというので聴かせてもらいました。とても上手になっています。演奏している子供たちも楽しそうです。**音がそろって**くると音楽の**楽しさ**を感じるのでしょう。



9月24日（火）うちわ・ローマ字・ミシン

一年生が廊下でうちわを持って歓声を上げていました。図工で作った作品をうちわであおぎ、**走らせて**いるのです。「カブト虫号」「ウサギ号」「新幹線」「カメ」などなど、作品には名前がついているようです。思いっきりあおぐので、そのクルマが**飛び跳ねる**ように進んだり、**ひっくり返ったり**していて、とっても楽しい走りを見ました。大きな大きなうちわを持ってきた子もいて、作品そのものよりも**走り方**に目が行ってしまいました。



三年生がローマ字の学習を進めています。初めは**先生**が**問題**を黒板に書いていました。「ame」「ika」などなど。ほとんどの子が読めることを確認したからか、**子供**に**出題**のチャンスが回ってきました。一人目は黒板にゆっくりと「syosya」と書きました。悩んでいる近くの子にヒントを出す子もいて、無事に「書写」であることが分かりました。次の子の問題は「**z i g y o u**」。これには少し時間がかかりました。これもジャンプ問題です。



六年生がミシンを使って裁縫の活動をしていました。「調子はどう？」といろんな子に訊ねてみると、予想通り**二通りの答え**が返ってきます。一つは**進み具合**について、もう一つは**ミシンの調子**。今のミシンはだいぶ使いやすくなりましたが、糸の絡まりや切断などによって動かなくなったり、動いても縫ってくれていなかったりと思うように動かないことも多々あります。それでも六年生は、



諦めずに取り組んでいます。嬉しい姿です。ボランティアの方々の力は、本当に大きいです。

9月23日（月）彼岸

お彼岸、お墓参り。朝早くから出かけたので、大汗をかかずにお墓掃除ができました。昨日の雨もありがたいと思いました。お墓を前にしていつも思うことは「産んでくれたことへの感謝」「人のために役立つ人間でいられるように見守っていてほしい」「穏やかに過ごしてください」ということです。



9月22日（日）お米

本日は残務処理もあり、出勤しました。校内を歩いていると、3年生の教室にあった俳句が目飛び込んできました。「**米がない お米を求めて スーパーへ**」。令和の米騒動の時に、つくった作品でしょう。忘れてはいけません。またお米が手に入らなくなることもあるかもしれません。この日、昼食はパンにしました。夕食のビビンバ、お米は**一粒も残しません**でした。



9月21日（土）同窓

大学の同窓会に出かけました。四年間、汗を流したコートは変わっていましたが、周りはあまり変化がなくとても懐かしく思いました。大学時代の仲間と、この歳になって会うのは不安もたくさんありました。会ってしまうと、話し方やリズム、表情などなどあの時と同じ。「こんな日が来るなんて」と何人かが話していましたが、同感です。どんな人とも、どんな時でも、**未来になって振り返る**日が来るのだと体感しました。

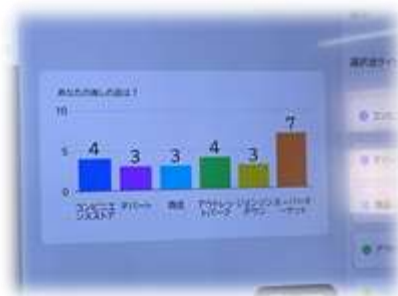


9月20日（金）応援・模様・推し

市内体育祭を励ます会の応援練習が暑い体育館で行われました。仕切るのは**四年生**。応援団がステージに上がり、三年生以下を動かします。各教室で練習をしたようですが、全体で揃えるのは初めて。難しいものです。特に**ウェーブ**などは何度か練習を行ったので、**旗持ち**の子は汗だくになりました。旗持ちの子にインタビューすると「旗は**重い**。でも五六年生のために応援をがんばりたい。五六年生には**優勝**してもらいたい」と熱く語ってくれました。

二年生の図工。先生が**自作**の模様を見せました。**拍手**が起こりました。「どうやって作ればいいのか」を学び合うといろんな意見が出ました。「ティッシュを**たたんで**、角に点々をつける」「ティッシュの**くぼみ**に色をつけて、何度も増やしていく」「画用紙に描いて、その上にティッシュを乗せる」（「**スタンプ**だ」の反応）。実際に自由に模様作りを始めると、楽しい模様が次々に誕生していきました。

三年生の社会では「推し店」活動のクライマックスです。コンビニ、スーパー、商店、ジョンソントウン、デパート、ウトレットパークの中から最も**「推す」店**を決めて、その理由をまとめる活動になりました。**スーパー**を推すグループの話し合いでは「何でも売ってるよ」「**便利**だ」「いや便利と言ったら**コンビニ**だ」「広い」「そうだ広さだ」「日用品が売ってることだ」などと、推す理由を書き始めていました。



9月19日（木）玩具・取材・信用

二年生が生活の学習で、おもちゃを作っていました。ある程度完成していて、本時は友達と遊ぶ練習をしたり、おもちゃを遊べるように調整する時間のようなものでした。授業の導入で先生が話した内容で、**歓声**が沸きました。「せっかくおもちゃを作ったから、クラスの友達だけでなく、一



年生と遊ぶことにしました」。当然、子供たちは真剣に活動を始めました。何事も「問題意識」が高いと、質の良い活動になることを認識しました。

50周年を記念したTシャツが出来上がりました。校長室につるしたこの日、たまたま広報委員会の子が校長室に別のことで取材にきました。このTシャツを見つけて新聞にすることを決めたようです。タブレットで写真を撮り、このデザインは誰がつくったのか、このTシャツに書かれている数字は誰が発案したのかなど、私よりも長く本校にいる職員に取材を始めました。

五年生の社会では食産業の学習が進んでいます。この日は「食べ物を選ぶときに何を重視するか」を学び合いました。ある子が「〇〇が作ったものなら信用できる」と友達に話していました。信用できる人が作ったかどうかという視点はおもしろいと思いました。私も近くの子に聴いてみました。「調理員さんが作った給食と、〇〇先生が作った給食、どちらを選ぶ?」。答えは明白です。「信用」というキーワードが産業には重要だと思い知りました。



9月18日（水）生活・静寂・演奏

児童朝会では、生活委員会が作成した動画を各教室で見て学び合いました。動画からは「廊下を走ると危ないこと」「朝のあいさつをすると気持ちがいい学校生活が送れること」のメッセージが込められた劇が流れました。あるクラスでは「自分でもできていないこともあったから気をつけたい」「朝のあいさつをもっとがんばりたい」「廊下を走ると危ないことがよく分かった」などの発言がありました。

あるクラスでは道徳でPCが活用されていました。「自分たちにできること」の意見をオクリンクで送ってみんなで共有していました。プラス、その意見に対するコメントをそれぞれが書き込み送っているのです。PC画面上に自分たちの意見やそれに対する評価が映っています。担



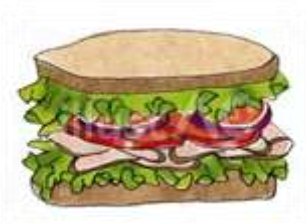
任に「いいですね。みんな真剣で」と声をかけると、「その代わり誰も喋らなくなる」と話してくれました。静寂の教室、友達の考えを知り、高め合う。すばらしい時間だと感心しました。

音楽室に入ろうとすると、中にいた子供から手招きをされました。これから演奏を始めるところだったのです。曲名は伏せますが、よく聴く曲。途中まで素晴らしい演奏が展開されました。「すごいな」「うまい！」とつい声を出してしまいましたが、その後ズタズタになっていきました。それは先生も子供たちも分かっていることのようにです。「もう一回ここからやります」と、そのズタズタのころの猛特訓が始まります。子供たちはとっても素敵な表情でした。先生の声は枯れていました。



9月17日（火）朝食・時計・音読

五年生の社会で面白い議論を見ました。昔の朝食（和食）と現代の朝食（洋食）の違いを学び合っていたときのこと。ある子が「今の朝食の方が豪華だね」と言いました。「いや、昔の方が豪華じゃない？」と、ちょっとした議論がありました。違う場所では「今の朝食の方が食材がたくさんある」「いや、昔の方がたくさんの材料を使っている」との議論がありました。担任が「昔と今、どちらの朝食の方がいい？」と聞くと、手を挙げた数は半々でした。ある子が「昔の朝食なんて、食べ切れそうにない」と声をあげたのが印象的です。



一年生の算数で時計が登場しました。「この時計を見て気づいたことを学び合ってください」と先生が言うと、ペアでいろんな発見を伝え合っていました。「長い針は分、短い針は時」「黒が長い針、赤が短い針」「長い針は一分ごとに動く、短い針は一時間ごとに動く」「時計の周りには、5、10、15、20、25・・・という数が隠れている」「周りの点の中に、太い点がある。それが5とびの数」「その時計は丸いけど、四角い時計もある」など。さっとGPTを



すると、こんなに良い反応が返ってきます。

一年生の国語、感心させられることがありました。音読を個々に行うときのことです。立ち上がる子もいれば、座ったままの子もいます。座った子の中にも教科書を立てている子と教科書を寝かせている子がいます。もちろん立って姿勢よく読むのが一番良いのですが、座っている子は指で教科書の字を追っています。自分に合った速さで読める、立つか座るかも選択できる活動になっている。これなら子供も安心して学習できると感じました。



9月16日（月）敬老の日

本日は敬老の日です。自分がこの歳になることを、小さい頃、想像もしていませんでした。外出すると、私よりも年上の方がたくさんいることに気がきます。腰の曲がった方や、杖をついている方もいます。元気なお年寄りとは年々増えている気がします。そんなことを考えながら歩いていると、ある掲示に目が留まりました。精神の充実、それが若くいられる秘訣なのかもしれません。



9月15日（日）読書

本日は午前中に研修会に出かけ、午後は家。外に出たくないような暑さだったので、涼しい室内で読書の時間としました。11月8日に本校でご講演していただく永井玲衣氏の新刊も読みました。『世界の適切な保存』。「問いが生まれて、消えていく。問いはこわれやすい。気まぐれにやってきて、私たちに何かをささやき、とられきれないままにどこかへ行ってしまう」という文章があります。「問い」「疑問」「違和感」大事にしたいものです。



9月14日（土）主張・カメ

昨日、五年生から預かった意見文に目を通しました。



「エアコンを全教室に」の意見文には特に説得力がありました。理科室や図工室では、夢中になると熱中症になってしまう。勉強がはかどらない、勉強嫌いになる。猛暑日などで学習をすることを考えて、適切な環境を。ぜひ、教育委員会にも伝えていきたいと思わせてもらいました。

朝から校庭ではサッカー少年少女が練習をしていました。コーチや保護者の方々もたくさん来ていました。練習が終わり、人気なくなった時、カメに会いに行きました。人気がなくなって安心したのか、三匹のカメが一緒に甲羅干しを始めました。休日出勤時の楽しみの一つがカメたちに会えること。暑い時間でも元気に甲羅干ししているこの子たちからも元気をもらえました。



9月13日（金）主張・ご飯・指導

五年生が国語の時間に作った意見文を持って校長室にやってきました。それぞれが考えた主張文を読み聞かせてくれました。

「登校班は不要。一人でもみんな安全に登校できる」

「給食は班で食べた方が良い。おいしくなる」

「自転車で行動できる範囲を広げてほしい」

「学校でポイ捨てをしてはいけない」

「エアコンを全教室に入れてほしい。勉強がはかどる」

「家で使わない教科書などは、学校に置いていきたい」

などなど。どれもごもっともな意見。根拠や予想される反論もしっかりと主張してきました。検討します！

五年生が炊飯の学習をしました。どのクラスも落ち着いて上手にご飯を炊くことができたようです。職員室で、お裾分けの**おにぎり**をいただいた職員が皆「おいしい」

「上手にできている」と絶賛していました。私も三日連続でいただきましたが、おいしかったです。ふりかけで味もつけてくれていました。五年生が張り切って、肩くんで、負けずに作ってくれたご飯。お腹いっぱいになるほどに、本日もいただきました。



朝、学級の時間、四年生が三年生以下の教室で市内体育祭出場選手を励ます会の**応援指導**を行いました。大きな声が各教室から響いてきました。指導を終え、教室から出てきた四年生は顔を紅潮させながらも**ほっとした**表情で話してくれました。「**うまくいった**」「みんな良くやってくれた」と。これまで毎日のように練習してきたことを、生かしたことで、大きな**自信**になったはずです。普段よりも**たくましく**見えました。



9月12日（木）研修・応援・行きたい

本校を会場にして「令和6年度**初任行政フォローアップ研修**」が行われました。参加された研修員の**所属**府省は様々です。会計検査院、内閣府、警察庁、消費者庁、法務省、財務省、厚生労働省、掲載産業省、国土交通省、防衛省、総務省、外務省、経済産業省、そして**文科省**など。一時間授業を参観してくださり、学校経営方針の説明を聞いて下さいました。15年ほど前に小学校を卒業した、日本の**未来を担う**行政を行っていく方々に、現在の学校の状況を見てもらうことができました。貴重な機会でした。



20分休み、図工室から**元気な声**が聞こえてきました。応援の練習をしているのです。**市内体育祭**に出場する選手を励ます会の練習です。来週は3年生以下のクラスに行き**指導**をするとのことで、気合いが入っていました。その隣の家庭科室では、運動会の**応援団**が集まっていました。応援合戦の計画を立てています。暑い日が続いていますが、応援も熱さを増してきました。



六年生の外国語では、「〇〇に行って〇〇をしたい」を英語で伝え合っていました。外国バージョンで学び会った後に、**日本国内**バージョンでも行いました。「**池袋**に行って〇〇を買いたい」「**山形**に行ってサクラamboを食べたい」「**川越**に行ってお芋を食べたい」「**上野動物園**に行ってお Panda を見たい」などなどを英語で伝え合っていました。外国に行きたい気持ちも強いでしょうが、日本にも良い



所がたくさんあることを知ってもらいたいです。

9月11日（水）あまり・階段・位置

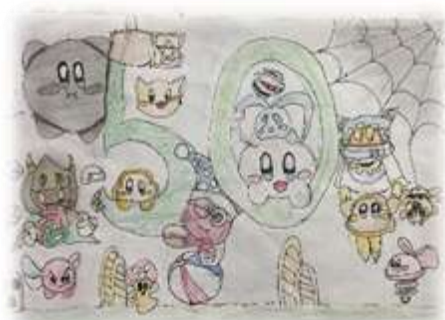
三年生があまりのあるわり算の学習をしています。算数の問題は基本的に文章題があり、計算をして答えを出します。答えは問題文に合わせて「5人」や「7台」となります。この日の授業では、あまりをどう答えに反映させるかを考えていました。ケーキを箱に入れる問題では、あまりがでたらそれを入れる箱も必要になります。タイヤ4つで車を作る場合、あまり3つでは車は作れません。子供たちはよく考え、「あまり問題」を解決しました。

五年生の教室に行くと、ある子が絵を見せてくれました。「選ばれました」と言うのです。何に選ばれたのか一瞬分かりませんでしたが、説明を聞いて理解しました。これから取り組む階段アートの絵に選ばれたのです。50周年を記念して、本校では階段アートに取り組んでいます。すでに六年生は下書きを始めました。北校舎の階段は六年生が、南校舎の階段は五年生が絵を書いてくれることになっています。

一年生の算数で面白い場面に出会いました。先生がカエル、ネコ、ウサギを並べました。「スタートしてから、ここまで進みました」と、この三匹を動かしました。「三匹の位置をどうやって説明しますか」と子供たちに問いました。ある子は「左」「真ん中」「右」で説明してくれました。ある子は「一番」「二番」「三番」と説明してくれました。そしてある子は「先頭」「真ん中」「最後」の言葉を使って説明してくれました。一年生がここまでしっかり表現できることに驚いた場面でした。

9月10日（火）除草・ご飯・優勝予想

写真の中の子が持っている大きなビニル袋、その中身は雑草です。本日は朝の時間に、全校環境整備「草むしり」



を行いました。約 15 分、大量の雑草が取られたことになります。子供たちは家から持参したビニル袋に草を入れていきましたが、**おさまらず**。玄関に置いておいた学校の大きな袋がほとんどなくなってしまうほど。扇っ子も職員も、みんなで朝からいい汗をかきました。

五年生の家庭科では**炊飯**の活動をしました。結論から申し上げますと、とっても上手にできました。出張から帰ってきた四時間目終わり頃、家庭科室に顔を出すと本日も一クラス目が片づけをしているところでした。私の顔を見ると、**大きなおにぎり**を一つ「どうぞ、食べてください」と差し出してくれました。おいしくいただきました。5時間目は、本日の二クラス目。炊き上がる頃まで見てみると、「校長先生どうぞ」と**茶碗**によそってくれました。おいしくいただきました。

六年生の算数では3つのクラスの**優勝予想**をしました。大縄跳びの回数です。3クラスは練習した**回数**も、その**記録**も様々です。**平均**を出して優勝予想をする子もいれば、**最高記録**を見つけて予想する子もいます。他には、**最低記録**で比較する子、**好記録**(70 以上)の回数で比較する子もいます。大事なのは予想した根拠です。データを生かして予想するのがこの時間のねらいです



9月 9日(月) 救急・先生・データ

本日は「救急の日」。昨日、**夕方**の**ニュース**ではその特集がありました。さいたま市で亡くなった**明日香さん**の事故のこと、その母親の話、再発防止のために作られた、**ASUKA モデル**について、心肺蘇生の訓練を小学生が行っている学校の紹介などなど。本校でも、この事故のことを再度確認し、救急**対応マニュアル**の確認をしました。

四年生の算数はわり算、3ケタ÷2ケタの筆算練習に入りました。グループで学び合っているところにある子が近づいてきました。その子は嬉しそうに「**全部できた**」と言ってます。そして、かけている**名札**を見せてくれまし



た。そこには「ミニ先生」と書かれています。「どんどん教えてあげて」と声をかけると、「言ってくれないと教えられない」と返ってきました。「分からなかったら友達に聞く」が徹底していると思い嬉しくなりました。「教えて」と言われたら「ミニ先生」が活躍するのだそうです。

六年生の算数は「データの活用」に入りました。その導入で、**ゲンタ**、**コナン**、**アユミ**が登場しました。「50m走、誰が一番速いか」の問いに子供たちは挙手で反応しました。最初の情報が提示されました。ゲンタ「**元気**」、コナン「昨日**ケガ**」、アユミ「昨日**発熱**」。これで反応は変わります。次の情報として**練習タイム**が示されました。また反応が変わります。データによって予想も変わる、子供たちにとって分かりやすい導入だと感心しました。



9月 8日(日) チャレンジ

昨日の午前中は、算数チャレンジ問題の○付けをずっとしていました。地区や県、全国の調査を受けて、担当が作成してくれた問題に、扇っ子が取り組んだのです。○付けは校長がやることにしています。実は○付けだけなら誰でもできるのです。ここからが勝負。一回で合格しなかった子が最後まで**粘り強く**やり切るまで見届けます。



9月 7日(土) 演劇

午後、体育館では劇団**アミーゴ+**の稽古が行われていました。「+」は扇っ子の**有志**です。50周年を記念して演じてくれる劇団は、脚本が完成すると本格的な稽古に入ると聞いています。この日はコミュニケーションや周りを見る目、互いを知ることがねらいとしたレクをしていました。さすがに学校で行う活動よりも難しいことに取り組んでいました。開演、**11月15日**が楽しみです。



9月 6日（金）春秋・骨・デパート

右の写真は、教室のテレビ画面に映ったあるグラフです。「春と秋、**どちらが好きか**」をオクリンクで送ると、リアルタイムに**グラフ**になる機能を使った授業です。一人が送る度にグラフが**変わる**ので、その度に教室には大歓声が上がりました。初めのうちは春がリードしていたのですが、終盤は秋が逆転。最後は同点でした。テレビで見るような**グラフの動き**が、教室でもできることに驚きを感じてしまいました。

四年生の理科では、「**手首より先に**骨はいくつあるか」という課題を学び合っていました。5本から30本の様々な意見が出た後に、説明できる子の発表が続くと、「**19本**」と考える子が増えていきました。親指に2本、他の指には3本、手の平に5本、 $2 + 3 \times 4 + 5 = 19$ 。発表が続くうちに、ほとんどの子は19本に納得したようです。

三年生の教室に入ると、数人の子に質問をされました。「校長先生、**デパートって何ですか？**」というのです。担任も私も、少しショックでした。「デパートを知らない子が多いこと」に驚いたのです。私が子供の頃は「デパート」と聞くだけで**心が踊った**ものです。いろいろなお店があって、レストランもあって、屋上には遊具や観覧者があって、ゲームコーナーもあって、何より広い。電化製品のコーナーを通ると、見たこともないテレビ番組がやっていたり、聞いたこともないような音楽が流れていたり。今やデパートは、子供にとってあまり**魅力**がないのでしょうか。



9月 5日（木）商・幕・思い出

四年生の算数はだいぶ難しくなってきました。本日の課題は「 $153 \div 23$ を筆算で解くこと」です。先生からの最初の問いは「答えは**何ケタ**になるか」です。3択です。この教室での反応は、「3ケタ」が1人で、「2ケタ」と「1



ケタ」が残り半分ずつでした。すでにこの段階でこれだけの差があります。「答えは1ケタ」と伝え説明しても、「1か2」と見積もる子もいれば、「8か9」と予想する子もいます。難しい学習でも張り切って学び合っていきます。

本日、六年生の代表の子が50周年の横断幕を校庭の柵に付けてくれました。梅雨と台風が去ってから貼る予定でしたが、そのタイミングがやってきたのです。体育館に仮付けしてあったものを、めでたく引っ越し。それを50年目の最高学年の子と、六年担任がやってくれたことに意味があると思います。

三年生が国語で「夏の思い出」を作文にするようです。たくさんの思い出の中から何を題材にするか、考えている場面を見ました。聞いてみると、ちゃんと「○○で○○をした」という回答がありました。「大阪に行って、たこ焼きを食べた、おいしかった」「友達とお泊まり会をして、12時まで起きていた、夜更かしをした」「水族館に行って、サメと泳いだ、おもしろかった」などなど。思い出は場所と活動、そしてそこにいた人。三年生も分かっているようです。



9月 4日（水）色・記録・太鼓

中庭から元気な声が聞こえてきました。行ってみると、二年生がいろんな色水を作っています。「きれいな色だよ」「ミルクシェークができた」「青汁を作った!」「コーンスープが出来上がり」などなどの紹介をいただきました。二人でやってきて「僕の青の方がきれいでしょ」「私の方でしょ」と判定を求めてきた時には言葉に詰まりました。「両方きれい、引き分け」と答えました。

予定を前倒しにして、市内体育祭の記録会を行いました。いつもより涼しい日になりそうだったからです。まずは、100m走の記録をとってから、それぞれがチャレンジしたい種目の記録をとりに散っていきます。何人かに聞いてみると「100mで疲れた」ことが分かりました。確かに



最近、思いっきり走れる日がありませんでした。「**長かった！**」と言っている子もいました。秋と言えば子供が思いっきり走り回れる季節のはずなのですが。

おうぎ学級が太鼓の体験を行いました。**あそびアート入間**の方が来校して下さり、演奏を見せていただいた後に太鼓をたたかせてもらったのです。叩くだけでも貴重な体験なのですが、**リズム**を全員で**創って**いく場面もあり、感動しました。近くで見えていても太鼓の音、リズムが**体を震わせる**ようでした。叩いていた子たちも、これまで感じたことのないような**感動**を味わったはずです。



9月 3日（火）上履き・校歌・幸せ

本日の発育測定は、五年生。保健室にやってきた**五年生**は、入室する前に当たり前のように上履きを揃えていました。一人ずつが、**前の子に合わせる**ように並べています。当然、次の子も**前の子にならって**並べています。きれいな**上履きの列**が完成しました。靴を揃える子は**落ち着いた気持ち**の子。測定も落ち着いて受けていました。



一年生が音楽で校歌を歌っていました。コロナ禍は合唱することが激減したため、校歌を全校で歌うことも減りました。行事の時間短縮のために、近年は歌っても一番だけ。しかし一年生は違いました。**二番も三番もしっかりと頭に入っている**ようです。入学当初から三番まで歌うことが多かったことが影響していると想像します。50周年の今年。全校の子に校歌を、**三番まで大事に**歌ってもらいたいと願っています。



四年生の道徳では、「小さな幸せ」について学んでいました。主人公は病気で長く入院します。**退院**して登校すると、小さな幸せに**気づく**という話です。これまでは感じなかった「小さな幸せ」とはどんなことか、子供たちが学び合いました。「**朝ごはんがおいしい**」「**学校に行ける**」「**友達と話せる**」「**野球ができる**」「**旅行に行ける**」などなどの意見の中で「**誕生日が迎えらる**」という発表がありました。当たり前のように訪れる一年に一度の誕生日を「幸せ」と



感じてもらいたいものです。

9月 2日（月）虫・体づくり・ゲーム時間

三年生が虫取りをしていました。場所は中庭です。この活動のために、この場所に関しては除草を控えています。張り切って育っている雑草の中で、三年生は「ダンゴムシだ」「チョウだ」「トンボだ」と嬉々として虫を追いかけてました。トンボを止まらせるために指を高く挙げている子の横で、木の枝を持って立っている子がいました。しかし静かな指や木にトンボが止まる様子はありません。なぜなら、元気な声が近くで響いているからです。



二年生が体育館で体作りの学習をしていました。熱中症指数が高く、激しい運動ができない中、楽しそうな活動をしていました。手をつないで輪をつくり、フラフープを一周させたり、一本の指だけでフラフープを上下させたりと、簡単そうでなかなかできない課題に取り組んでいました。体作りの運動は、自分の体だけでなく、他の人の体の動きや他の人に動きを合わせることなどを学ぶ、貴重な体験です。



発育測定前の養護教諭によるミニ授業。本日は「ゲーム障害」や「ネット依存症」について学びました。ゲームや動画視聴を増やさないための家庭でのルールを聞いてみるといろいろな約束が発表されました。「ゲームは1時間まで」「勉強が終わってからゲームをする」「ゲームやネットは朝だけ」「8時になると、ゲームやネットができないようになっている」などなど。これに関しては、大人の力が絶対に必要です。家庭でのルール、決まり、約束、大事にしてほしいです。



9月 1日（日）防災の日・イベント

1923年9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者10万5千余人という大惨事になりました。この震

災を教訓として、一人ひとりの防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうため、9月1日が「防災の日」と制定されたと言います。この頃に比べて、私たちが注意しなければならない災害は確実に増えています。台風もその一つ。午前中に教育委員会から連絡があり「明日は**通常授業**」となりました。一安心です。

教師になってから毎年感じる気持ちが本日もありました。あるTV局の大イベントがあると「夏休みが始まった」と感じ、ある局の大イベントがあると「**夏が終わった**」と実感します。このイベントの中の**マラソン**も、開始当初よりも酷暑の中で行われています。「これだけ走ったんだから、車で会場まで連れてってあげれば良いのに」と思ってしまうのは、私だけでしょうか。

